

大田区自立支援協議会 令和7・8年度 第7回地域生活部会議事録

文責：山田(事務局一部修正)

(1) 会議の名称	大田区自立支援協議会 令和7・8年度 第7回地域生活部会			
(2) 開催日時	令和令和8年1月27日(火) 10:00~12:00			
(3) 開催場所	大田区立障がい者総合サポートセンター 5階多目的室			
(4) 出席した委員、事務局	伊藤 朋春	小松代 菜央	長崎 未奈	小野 英次郎
	松浦 好美	渡邊 優美	南雲 好晶	相澤 あゆみ
	青山 明子	広瀬 健次郎	栈敷 洋子	平井 有希子
	山田 薫			
	区事務局：馬場 齋藤 小西 鈴木 オブザーバー：前畑			
(5) 内容・要旨	<p>1. 議題</p> <p>(1) 事務連絡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出欠確認 ・司会-伊藤部会長 書記-山田委員 ・オブザーバー参加 障害福祉課 前畑 文枝 係長 見学参加 大田福祉工場 朴 沙羅 氏 (来年度柴田氏より交代予定) ・今後の予定 自立支援協議会本会：3月27日(金) 14:00~16:15 会場：サポートセンター5階 多目的室 中間報告および学習会を実施予定 意思決定支援をテーマとした講義と、個人ワーク・グループ共有を検討中 <p>(2) 地域生活支援拠点について</p> <p>大田区における地域生活支援拠点事業について</p> <p>地域の体制づくり</p> <p>○前畑係長より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域生活支援拠点は、障害のある人が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるため、多様なニーズに対応できるサービス提供体制と関係機関の連携体制を構築することを目的としている。 ・令和6年度通知では、拠点の機能は「4つ」と整理されたが、「地域の体制づくり」はそれらを支える基盤として引き続き重要とされている。 <p>拠点コーディネーターについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治体と連携し、地域生活支援拠点の4機能(相談・緊急時対応、体験の機会、専門の人材確保)を円滑に機能させるための調整・ネットワーク構築を担う役割 ・現時点では、役割や配置、具体的な業務内容については未整理であり、人材育成も含め課題がある。 <p>地域の会議体・ネットワークの現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区内には、相談支援事業所連絡会、居宅事業者ネットワーク、移動支援事業所ネットワーク会議、児童発達支援地域ネットワーク会議、障がい者グループホーム連絡会、就労関係会議など、多様な会議体・ネットワークが既に存在している それぞれの会議体では、情報共有や事例検討、学習会等が行われている。 			

○「移動支援事業所ネットワーク会議」「相談支援事業所連絡会」「児童発達支援地域ネットワーク会議」「障がい者グループホーム連絡会」「就労促進担当者会議」「就労移行支援連絡会」「職場体験実習実行委員会」のネットワーク会議に所属している委員より、会議で行っている内容を発表し、共有した。

○グループワークでの課題・意見

- ・会議体同士の「横のつながり」が十分でない。
- ・フォーマルな連携だけでなく、インフォーマルなつながりも重要。
- ・拠点コーディネーターにすべての役割を集中させるのではなく、情報の整理・交通整理を担う役割が現実的ではないか。
- ・ワンストップで受け止めた相談を、顔の見える関係の中で適切につないでいく仕組みが必要。
- ・行政窓口での「たらい回し感」が残っているという声もあり、改善の必要性が指摘された。
- ・大田区内に短期入所が増えてきていることもあり、現状の確認や、課題共有が行えるようなネットワークが欲しい。

(3) 中間報告作成について

- ・これまでの協議内容を踏まえ、中間報告（文章化）を進める。
- ・本日配布された資料（これまでの議論の記録）を各自確認し、「必ず盛り込んでほしい点」「重要だと感じる視点」についてチェックを行う。
- ・本日の意見を踏まえ、中間報告案を作成し、次回会議前に委員へ共有する予定。
- ・次回会議では、文案の確認・修正を行い、3月の本会に向けて内容を固めていく。

2. その他

次回：第8回「地域生活部会」令和8年2月20日（金）